

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい
かがやく山内西の子

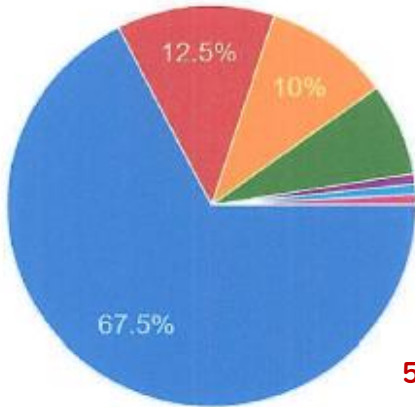
山内西小 HP:<http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校
学校だより 4号
令和8年5月18日発行
文責：校長 松尾 寛

子どもも大人も、朝のあいさつをえがおで続けていきましょう！

5月は、五月晴れの日が続く、天候に恵まれています。朝、校門に立っていると、1年生の男の子がオレンジのケシの花を二輪持って近づいてきました。その男の子は、元気に「おはようございます。」とえがおで言った後、一輪を私に「こうちょうせんせいにあげる。」と言って手渡ししてくれました。朝からとてもうれしい気持ちで過ごすことができ、もらった一輪の花を校長室に生けておきました。すると翌日、その男の子が、朝、校門で同じように元気にあいさつをした後、オレンジのケシの花を手渡ししてくれました。私が「家に咲いていたの？」と聞くと、「みちにさいていた。」と話してくれました。その男の子の優しい気持ちにありがとうと感謝するとともに、朝、えがおで登校できていることや、ご家庭で心豊かに育てたり接したりされていることを感じました。すてきな朝の時間を過ごしています。

先日、佐賀県教育長の甲斐直美さんの話を聞いた折、「子ども達にえがおであいさつができるようにするには、大人が手本となるえがおであいさつをすることが大切です。」と言われました。私も同感で、子どもが自分からあいさつをしない時こそ、大人が元気にえがおであいさつをすることを心掛けています。PTA総会でお伝えしたように、あいさつはコミュニケーションのはじめの一歩です。これからも山内西っ子がえがおであいさつができるよう全校で取り組んでいきます。どうぞ、ご家庭や地域でえがおであいさつを続けましょう。



- じぶんからあいさつができた
- あいてにきこえるようにあいさつができた
- だれにでもあいさつができた
- あいてもよろこぶあいさつができた
- 相手に聞こえるような挨拶ができた
- おおきなこえであいさつができた
- ゆいかさんが挨拶を朝いつもしてくれる

5月の全校朝会で、子ども達に自分から地域の人やすれ違う人に自分からあいさつをすることを伝えました。今、8割の子ども達があいさつができていると振り返っています。更に、えがおでのあいさつをめざします。



あいさつ・へんじ みんなのしょうかい

あさ、とうこうするとき、すれちがったひとにじぶんからあいさつをした。ともだちといっしょにかえっていて、ちいきのひとにきこえるこえで、あいさつをした。

今年度は、えがおであいさつができる子どもたちにはあいさつマイスターの称号を手渡したいと思えます。学校だけでなく地域でも自分からえがおであいさつができる子ども達を褒めていきたいと考えています。

交通安全教室へのご協力、ありがとうございました！事故防止に努めます！

武雄警察署や市役所から来て頂き、交通事故防止の話をして頂いたり、教室用の信号機や車両を準備して頂いたりしました。警察署の方からは、「自分の目で、しっかりと安全を確認してから、歩いたり自転車に乗ったりすることが大切です。」と言われました。

また、山内西小校区の武雄市交通安全指導員（浦川秀幸さん・福田太平さん・山田弘人さん・安永数則さん・前田和宏さん・田代善孝さん）の皆さんにも来て頂き、子ども達への指導を行って頂きました。その中で、「横断歩道を渡る時は右、左、右を必ず見ましよう。」と言われました。子ども達は、目視での確認をして歩いたり自転車に乗ったりしていました。

今回の交通安全教室に自宅から自転車を持参した子ども達がいましたので、自転車での練習もできました。警察署、市役所、交通指導員の皆さんともにありがとうございました。



1・2年生は分校も含めて、学校周辺の道路で横断歩道の安全な渡り方を体験しました。



3年生以上は、運動場で交差点や踏切があるコースで、歩行や自転車乗りの練習を行いました。

子ども達の新体力テストを実施しました！

新体力テストとは、文部科学省が定めた体力調査です。全国の小学校で実施され、8つの種目（握力・上体起こし・ソフトボール投げ・長座体前屈・反復横跳び・立ち幅跳び・シャトルラン・50メートル走）で行いました。



体育館では、長座体前屈、上体起こし、立ち幅跳び、反復横跳びを上級生や教職員が協力して行いました。

昨年度の山内西っ子の新体力テストの結果で特徴的なことは、男子は立ち幅跳びやシャトルラン、反復横跳びが全国平均よりも高く、握力、上体起こし、50メートル走が低く、女子は握力、立ち幅跳び、ソフトボール投げが高く、他はほぼ全国平均と同レベルでした。結果は年度毎で異なり、今年度の全国平均と比較した結果が出るのは年度後半です。これから体育科の学習やスポーツチャレンジ等を通して、子ども達の体力の向上に努めていきます。全国的にも、小学生や中学生の体力の低下が課題になっています。外遊びやスポーツを楽しむ機会が、これからも大切になってくると思います。